第2740地区 創立／1990年9月29日 認証／1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：西村 浩輝／副会長：山瀧 正久／幹事：野村 和義

2013～2014年度クラブスローガン

『淡々とロータリーを楽しむ』
ありがとうの心で

2013～2014年度RIテーマ
ロータリーを実践し
みんなに豊かな人生を

〒857-0872長崎県佐世保市上京町3-2セントラルホテル佐世保419号室 TEL.0956-25-5595 FAX.0956-25-3445 Mail.chuo-rc@theia.ocn.ne.jp

本日の出席率７９．０６%: 会員数４４名・出席３２名・欠席９名・出席規定免除会員（３） ２名・ビジター３名
前々回の修正出席率１００%: 出席３５名・メークアップ６名・出席規定免除会員（３） ２名

会長挨拶／西村 浩輝君



皆様こんにちは。いよいよ梅雨入りの話題も出てきて、雨の日が多くなる季節になりました。皆様には体調に気を付けていただきたいと思います。雨の日は、その人の思いで良くも悪くもなるものです。雨が降って水の心配をしなくて済む、紫外線が少ない、田植えが出来て良かったと思うと、なんでも良い方に思うことが楽しくなります。梅雨晴れ間もあると思います。梅雨の季節を楽しみながら過ごしたいと思います。

今日は、国際ロータリー第2740地区第6グループ、川崎伸一ガバナー補佐の4回目の訪問です。1年間本当にお疲れ様でした。ご指導ありがとうございました。

5月11日に開催された、第42回佐世保市内8RC親睦ゴルフ大会ではホストクラブを務めました。佐世保中央RCの会員の皆様には大変お世話になりました。心配された天気ですが、雨の中でのプレーをすることもなく快適にできました。皆様のご協力の賜物だと思います。感謝申し上げます。私もハーフでエージシュートを「こびっと頑張った」のですが、残念ながらできませんでした。打上げの懇親会でのプロジェクターによる成績発表の映像には驚きました。短時間でまとめられた中央会の皆様に感謝申し上げます。又、すばらしい賞品の用意をしていただきました。私も西海賞をいただき、ごちそうさんでした。ゴルフも私の健康法の一つにしようと思い、始めました。この一年間思うように練習はできていませんが、これまで4回のラウンドを廻り、楽しませてもらいました。ラウンド後のビールがうまいので、これからもゴルフボールに導かれて、ラフを走り回りたいと思います。身体を動かすことが健康につながるものと思います。

本日のビジター紹介

ハウステンボス佐世保ロータリークラブ　中川　英俊様
道添　昭仁様
松尾　京子様

Report 幹事報告／野村 和義君

1．例会変更

ありません。

2．来　　信

・（公財）ロータリー米山記念奨学会
ハイライト米山170号

・ガバナーエレクト事務所
次年度資料について
宮﨑清彰次年度ガバナー公式訪問、クラブ協議会日程表
次年度地区関係予算書

3．伝達・通知

・クールビズに関しまして、5月1日より市役所、銀行他クールビズが導入されております関係上、当クラブにおきましても実施致します。
・来週（5/22）の例会は職場訪問例会です。詳しくは後程職業奉仕委員会より報告があります。
・来来週（5/29）は芥川圭一郎君、濵田憲治君の新入会員卓話です。

《 第４回ガバナー補佐訪問 》
川﨑伸一 第６グループガバナー補佐



第4回目の訪問です。まずは先日の市内8RC親睦ゴルフ大会、ホストクラブとして実施されお疲れ様でした。1ヶ月経ちますが地区大会には沢山の参加ありがとうございました。会員数が純増6名ということで素晴らしいです。ロータリー財団・米山奨学にも沢山寄付をいただいております。一年間お世話になりました。

■ロータリー情報
田代博之 クラブ管理委員会委員
ロータリークラブ
出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』
移動：案内、検索

ロータリークラブ（Rotary Club）は、国際的な社会奉仕連合団体「国際ロータリー」のメンバーである単位クラブである。最

週報製作：会報・出席委員会／池永 隆司、長富 寿人、牟田 憲市、鶴田 明敏、古川 直記、糸瀬 新

初のクラブが例会場所を輪番（ローテーション）で提供しあったことから「ロータリー」の名がついた。

概要 [編集]

ロータリーエンブレム

1905年、アメリカ・シカゴに最初のクラブが誕生。メンバーはクラブにおいて１業種１人が原則であったが、現在その縛りは緩められている。輪番・回転にちなみ、6本スポークの歯車がシンボルマーク（エンブレム）である。「国際ロータリー」は世界初の奉仕クラブ団体であり、200以上の国と地域に33 ,000近くのクラブを擁し、会員数は120万人以上である。

職業奉仕（会員の職業倫理を高めること）と、そこから広がる社会奉仕と国際親善を目的とする。基本的には「I serve: 私は奉仕する」、クラブとは「奉仕をするクラブ会員であるロータリアン個人の集まり」であり、国際ロータリーはそのクラブの連合体とされているが、個人のみならずクラブ単位や国際ロータリーとしての奉仕プログラムも行われている。ロータリークラブ活動の特色として、各クラブごとに、独自の事務局を持ち自主独立運営が行われ、奉仕活動、寄付行為、会員の交流、友好事業等がなされている。

日本 [編集]

1920年、当時三井銀行の重役であった米山梅吉等が、東京都に日本初のロータリークラブを、国際ロータリーから855番目に認証を受けて創立した。

東京RCがダラスRCをスポンサーとしているのに対して、日本で第2番目に認証を受けた大阪RCは国際ロータリー 直轄で出来たクラブであり、親クラブを持たない本家クラブと呼ばれる日本唯一のRCである。ダラスRC会員であった福島喜三次が帰国後大阪に赴任し、星野行則とともに1921年（大正10年）大阪にロータリークラブを作る1922年（大正11年）春、同年11月1日第一回の創立準備会を中之島大阪ホテルにて開催した。その後チャーターメンバーを選び、クラブ細則原案を作り、1992年（大正11年）11月17日に大阪RC創立総会を開いた。

関東大震災を契機として、日本のロータリー運動は本格的になっていくが、1924年（大正13年）7月に東京RCを立ち上げた米山が初代のスペシャル・コミッショナーに任命される。第2代が井坂孝、第3代が平生釟三郎である。この1名の指導のもとに、次々とRCが日本の大都市に設立されていった。東京・大阪に続いて、1924年（大正13年）8月に3番目の神戸RCが8月に設立される。スポンサークラブは大阪RCであった。続いて東京 RC がスポンサーで、1924年12月に4番目の名古屋RCが設立される。さらに東京・大阪両クラブの共同スポンサーによって5番目の京都RCが設立され、6番目に横浜RCが設立される。六大都市にロータリーが設立され、その後日本全国にRCが次々に拡大していった。第二次世界大戦による中断があったものの、戦後会員を拡大し世界第2のロータリー国となるが、近年に至り、経済情勢の変化さらに震災等の影響からか、会員数は減少傾向にある。

クラブ数2,301、会員数89,249人（2012年1月末･ロータリー公式誌による）。日本は3ゾーン編成で、34の地区に分かれている。そのうちの1地区にはミクロネシア、グアム、北マリアナ諸島、パラオという海外の地域も含む。

行動基準 [編集]

会員の行動基準として「四つのテスト」がある。

四つのテスト "The Four-Way Test"

言行はこれに照らしてから "Of the things we think, say or do"

1. 真実かどうか "Is it the TRUTH?"
2. みんなに公平か "Is it FAIR to all concerned?"
3. 好意と友情を深めるか "Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?"
4. みんなのためになるかどうか "Will it be BENEFICIAL to all concerned?"

標語

- 「超我の奉仕」"Service Above Self"
- 「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる。」"One profits most who serves best"

ロータリーの理念 [編集]

ロータリーは人道的な奉仕を行い、すべての職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、世界においては、親善と平和の確立に寄与することを指向した、事業及び専門職務に携わる指導者が世界的に連携した団体である

committee 委員会報告

糸瀬新 職業奉仕委員会委員

職場訪問例会のご案内

12：00 食事

12：30 例会場 オリーブベイホテル

職場訪問 株式会社大島造船所

オプション 大島焼酎工場見学

牛島義亮 中央会会長

5月11日（日）開催されました市内8RC親睦ゴルフ大会、当クラブは5位でした。6月15日（日）に第5回中央会、7月に取り切り戦を行いますので、よろしくお願い致します。

(^_^) ニコニコボックス

第６グループガバナー補佐 川﨑伸一様

皆様こんにちは。本日は第4回目のガバナー補佐訪問となります。一年間お世話になりました。

西村浩輝会長・山瀧正久副会長・野村和義幹事

お忙しい中、淡々と例会にご出席頂きありがとうございます。また、本日は第2740地区第6グループガバナー補佐、ハウ

ステンボス佐世保ロータリークラブの川﨑伸一君、同じく中川英俊君、道添昭仁君、松尾京子君のご来訪、誠にありがとうございます。心より歓迎申し上げます。日曜日、市内8RC親睦ゴルフ大会に参加して頂きました、会員の皆様大変お疲れさまでした。中央会牛島会長をはじめ幹事の方々、本田委員長をはじめとする親睦活動委員会の皆様、本当にありがとうございました。最高のおもてなしができたのではないかと思います。井上パスト会長におかれましては、ゴルフに誘われなかったにも関わらず懇親会には、きちんと出席して頂き、心より感謝申し上げます。来週はいよいよ職場訪問例会です。時間、場所の再度の確認をお願いします。

坂井智照君・大久保厚司君

川﨑伸一ガバナー補佐の最後の訪問です。静かに聞きましょう。

竹本慶三君

5月3日の38回目の結婚記念日の花、ありがとうございました。

牛島義亮君

先日の市内8RC親睦ゴルフ大会では、皆様のご協力により成功裏に終えることができました。ちなみに私は60歳以上70歳未満でベスグロ2位でした。

香月章彦君

5月3，4日佐世保島原ウルトラウォークラリーに参加しました。時間は22時間24分かかりましたが、私は3回連続、妻は2回連続の完歩を達成しました。途中FBで中断しましたが、いいねや声援の書き込みを頂きありがとうございました。運営スタッフの岡君ありがとうございました。ちなみに市内8RC親睦ゴルフ大会のスコアも105でした。

宮﨑正典君

ハウステンボス佐世保ロータリークラブの道造昭仁君のご来訪を歓迎致します。先日のゴルフはいかがでしたか。私はOB4発、空振り1回でした。

本日の合計	12,000 円
本年度の累計	831,000 円

本日の卓話

《 地区研修・協議会報告 》

岡 光正次年度理事（国際奉仕担当）



今回は、ロータリー財団の活動奉仕について報告します。

2014－15年度RIのロータリー財団目標

1. ポリオを撲滅する。いまこそ目標達成しよう。
2. 継続的な寄附を通して、ロータリー独自かつ唯一の慈善事業を支援する。
3. 持続可能な教育的・人道的プログラムに参加することで、新しい補助金プログラムの発展を確かなものとする。
4. ロータリー平和センター・プログラムの推進と広報を通して、世界理解、親善、平和を育む。
5. 広く会員の皆さんにロータリー財団について理解していただくよう啓蒙活動を行う。
6. 補助金委員会・資金管理委員会・資金推進委員会・ポリオプラス委員会それぞれが活発は活動を行い、当地区の発展に寄与する。

参考：ロータリー財団の恒久基金／大口寄附キャンペーンの趣旨は、2017年の創立100周年に向けて、人道奉仕を掲げる世界の300を越える著名な人道奉仕財団の中にあって、十指に入る奉仕財団（ロータリー財団は34番目辺り、2012年現在）としての基盤を構築すべく、10億ドル（約1千億円）の財団基金の充実を目指しております。2013年6月現在、ロータリー財団の純資産は9．6億ドルとなっております。

山瀧 正久次年度理事（職業奉仕担当）



国際ロータリ第2740地区「地区研修・協議会」が開催され、次年度の役員として出席を致しました。栗林パストガバナーの基調講演を拝聴し、担当の職業奉仕部会に出席し、駒井地区委員長より活動方針と職業奉仕について話を聞くことができました。話の中のほんの一部ですが、

ロータリーを一本の大きな樹に例えて、

「根」　＝ クラブ奉仕
「幹」　＝ 職業奉仕
「枝・葉」＝ 社会奉仕
　　国際奉仕
　　青少年奉仕
「花」　＝ ロータリー財団

であると表現し、幹である職業奉仕は大事な部門であると力説されました。

ロータリーの役割の中で

・ロータリーの職業奉仕理念は不変の哲学である。
・ロータリアンは経営者の立場から、株主や従業員、同業者や顧客も満足するような、正常な企業経営ができるように、リーダーシップを発揮するべきであると強調されました。

この研修会に参加して、次年度の担当としてメンバーの意見を頂戴しながら、1年間の事業計画を作成し、蜷さんが気月に参加できるような活動を、やっていけたらとの思いを致しております。

池永隆司 次年度理事（青少年奉仕担当）



青少年奉仕統括委員会の中島洋三委員長の挨拶の中で、第2740地区では、委員会の名称が新世代奉仕委員会から青少年奉仕委員会に変更されました。9月28日（日）青少年奉仕セミナーが開催されます。これまでRYLAは14歳から30歳までと年齢制限

があったのが、年齢制限がなくなる。（新世代プログラムの元参加者が継続的にロータリーとの関係を保てるよう支援する）青少年交換留学生で過去に色々問題があった。

インターアクト委員会の若杉委員長からの説明
インターアクトは14歳から18歳までの青少年のための奉仕クラブで、世界中の11,000以上のクラブに所属する250,000人以上の青少年がいる。第2740地区では、20の高校がインターアクトクラブとして活動していて、本年度新たに1校（純心）が参加する。まだまだインターアクトクラブを増やしたい。

ローターアクト委員会の古賀委員長から説明
現在、第2740地区内に10クラブのローターアクトクラブがあるうち、9クラブ会員数70名が、親睦と奉仕を通じて将来のリーダーを育てる活動をしている。（18歳から30歳の大学生および若い成人のためのクラブ）色んな組織の人が集まって話し合うので、指導者としての人格ができ、将来のロータリアン候補。

ただ、発展途上国の会員数は増加しているが、先進国の会員数は減少している。第2740地区も同様で会員増強をはかっているということで、宿題として、企業会員を増やしたいので、近隣ローターアクトに紹介してほしい。

ライラ委員会の北郷委員長の説明
ロータリー青少年指導育成プログラム→RYLAは参加者の年齢制限がなくなり、行事は中高生、大学生、若い成人を対象として、リーダーシップスキルと人格を養いながら、奉仕、高い道徳基準、平和といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供することを目的としていている。第2740地区での開催予定が、2013－2014年度（第35回）が5月24日・25日、ホストクラブ 諫早北RC（国立諫早青少年自然の家）、2014－2015年度（第36回）は2015年、ホストクラブ 平戸RC。

国際青少年交換委員会の佐古委員長の活動方針
青少年交換は、15歳から19歳の青少年が母国以外の国を訪問したり、そこに留学したりする機会を提供するもの。

ロータリー青少年交換留学生の派遣のお願い
第2740地区では今年度、長崎出島RC、佐世保南RC、諫早北RC、佐世保中央RCから留学生の派遣。受入れは、アメリカから3～4名、オーストラリアから2名、イタリアから1名、ブラジルから1名で、女性が多い。

大阪での世界大会で、30年前にオーストラリアの留学生がアメリカの派遣先で性的暴力を受けたといって訴えられたり、過去に色々と問題があり、地区に弁護士も入れての、青少年危機管理委員会が設置された。また、ホストファミリーに犯罪履歴を出すように要請されているが、日本は出せない。
（個人情報保護法）

ただ、青少年交換青少年ボランティア誓約書等の書類を作成しなくてはいけない。会長・幹事・青少年委員長・ホストファミリーの連名。地区の責任者はガバナー、各ロータリーは会長が責任者。

井上亮 次年度理事（クラブ奉仕担当）



今年に続いて来年も地区クラブ奉仕委員会に出向します。例会場の雰囲気はどうなのか、魅力あるプログラムになっているか、SAAの役割を本当に理解して行っているか、もう一度確認してほしい。

例会で一番大切なのは会長のスピーチなので、ロータリーのことを交えた話をしてほしい。出席委員会の役割の確認。出席率が悪くなるとクラブも衰退する。親睦活動委員会はクラブの雰囲気つくりが大切。週報の充実のお願い。卓話の時間、中身、魅力ある卓話（外部卓話者の選出）

大久保厚司 次年度会長



RIのロータリーの戦略計画として人道的奉仕の重点と増加に関して母と水、ポリオ、デング熱等RCの疾病に対する未来の薬の為に、クラブのサポートと強化に関して親睦、高潔性，多様性，奉仕とリーダーシップの基基に活性化させ、公共イメージと認知度を向上させてRC活動を正しく世界に認識させる。

この戦略を基に民主主義的に次年度への総論とある程度の各論をまとめて会のコンセプトを決定したいと考えます。追加事業は後でも受けられますが、主幹は代えることはできませんので、配属の委員の皆様の出席ときたんない御発言と活発な意見交換をお待ちしております。

本田実 次年度幹事



次年度、会長と幹事を受けるために必ず受けなくてはいけない3月15日の会長エレクト、次年度幹事研修セミナー（PET）に続き地区研修・協議会を4月27日に7名（会長、幹事、クラブ奉仕の井上君、職業奉仕の山瀧君、社会奉仕の八重野君、新世代奉仕の池永君、国際奉仕の岡君）で出席してきました。

全体の開会式、 基調講演後 各部会に分かれて研修会に入り会長・幹事部会に移動いたしました。テーマが【会長・幹事におさえておいて頂きたいこと】【クラブ会長を経験して】【望まれる幹事像】眠気をさそう大変硬いテーマです。望まれる幹事像では2013年～2014年のガバナー補佐、2005年～2006年度諫早RCの会長をされた森 由有君の講演から始まりました。ロータリーは企業のトップや色んな団体のトップの方々の集まりで 育った環境や仕事の環境も違えば考え方も色々あると思います。色んな案件で自分と同じ意見もあれば、違う意見も出てくることがあると思いますが違った意見でも、よく協議を行い 一致するときは協力しあっていくこと。

幹事は会員の意見調整役をし
1、全体に目くばり、気配り、調和を大切にし 各委員会とのパイプ役で委員会の議事録をよく読んでおくこと
2、自分の意見があったとしても まずは前面には出さずにみんなの意見をきくこと

国際ロータリー第２７４０地区
２０１４～１５年度 社会奉仕委員会
坂井智照 社会奉仕委員長



活動方針

今年度、社会奉仕委員会のテーマは前年に引き続き「復興とロータリアン」としました。今の社会に必要な事は「復興」以外に他ならないからです。これは単に継続した活動を目的とするだけではなく、次の2点の精神をもとに熟考し、決定したものです。

①「社会奉仕は、ロータリアン一人ひとりが『越我の奉仕』を実証する機会である。地域に住む人々の生活の質を高め、公共のために奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとっても、またロータリー・クラブにとっても献身に値することであり、社会的責務でもある」（1992年規定審議会にて採択された「社会奉仕に関する声明」より）

②RIテーマ「ロータリーに輝きを Light Up Rotary」を掲げる2014－15年度国際ロータリー会長 ゲイリー C.K. ファン氏は、このテーマについて「奉仕において高い目標を掲げるためにはロータリー自体に対する手入れを怠らず、ロータリーファミリーを拡大していく必要がある」と述べ「輝けるロータリーであればそのロータリーによる奉仕で世界に輝きをもたらすことが出来る」という信念を表明しています。

日本人である我々は、また日本のロータリアンである我々は「復興とロータリアン」を真剣に考え、困難に真摯に向き合ってこそ、社会へロータリーの輝きを伝えることができると思います。そこで、復興に関連する継続性のある事業と共に、今という時代に沿ったロータリアンらしい社会奉仕を行うことを活動方針とします。



ＳＡＡ：溝上純一郎君
次回例会／５月２２日１２：３０～
職場訪問例会／株式会社大島造船所

memo